



# SDGsとどう向き合うか

30年後の社会を見据えて



2019.1.15 Tue. 18:00-20:30

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

●参加費:1,000円 ●定員:先着20名

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

趣旨

2015年に国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、17の「持続可能な開発目標」(SDGs)が採択されました。SSIは、自らが目標として掲げる「命を大切に、一人一人が輝く社会」にいたるための重要な道標としてSDGsを位置づけ、17のゴール、169のターゲットを、命を「まもる」、「はぐむ」、「つなぐ」という視点に結びつけ、プロジェクト等を進める予定です。今回のサロンでは、大学、政府、企業、市民社会がSDGsをどのように進めていくべきか、その達成をどのような指標で評価するのか、達成の先にどのような社会を見据えるべきかなど、SDGsとの向き合い方を、各界の関係者の方々と交えて論じます。

プログラム

- 18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授
- 18:10 話題提供 住田孝之 内閣府知的財産戦略推進事務局長「SDGsは価値デザインのヒント」  
土井健司 工学研究科教授「SDGsが導く都市像と共感形成」  
大久保規子 法学研究科教授  
「日本のガバナンスは何が問題なのかー目標16からの示唆ー」  
高山千弘 エーザイ執行役員・知創部長  
「SDGsを目指した共感に基づく知識創造企業(活動)」
- 18:50 ディスカッション (モデレーター: 栗本英世 SSI副長・人間科学研究科教授)
- 19:30 ダイアログ (食事を取りながら)

